



庵治ストーンフェア2016



今回出展しました五輪塔は奈良県の長岳寺さんの山門をくぐって右側に立派な五輪塔が沢山あるうちの一つをモチーフに作成した作品です。

石種：本御影

仕上：ピシャン仕上

空輪から地輪まで一石で仕上げた珍しい作品となっております。



残念ながら、即売となりましたが御興味をお持ちの方はお問合せください。来年も試行錯誤しブース設営しますので是非、御来場お待ちしております。



営業卸部門 大阪営業所 山口

終活イベント参加報告

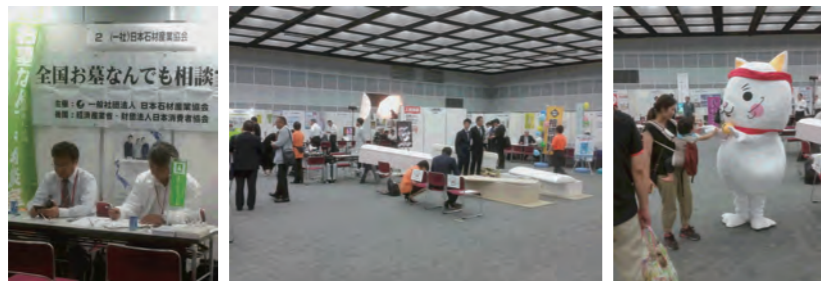
6月22日(水)「第2回よみうり終活フェスタ2016 in 大阪」が梅田クリスタルホール(梅田センタービルB1F)で開催されました。当日はラジオの人気パーソナリティーも講演を行うなど大盛況でした。

日本石材産業協会大阪府支部として「お墓なんでも相談室」のブースを出して、先祖供養やお墓のご相談のお手伝いをしましたが、最近の相談傾向はお墓の撤去や移転などへの疑問が大変多く、これまでやったことが無いので疑問が多いのかと感じました。

終活という言葉を身近に感じている世代のお客様は、次の世代に負担をかけたくないという思いが強いようですが、次の世代の方が先祖供養をしたくない訳ではなく、むしろ大切な方のお墓に手を合わせることは人として昔も今も変わらないと思います。

これからも各種イベントや「お墓なんでも相談室」を通して、若い世代の方への啓発をお手伝いできればと思います。

営業卸部門 大阪営業所 甲佐



(会場は大盛況)

閏年と逆打ち遍路

弘法大師が42歳の時に四国霊場を開いたとされ、今なお多くの方々が様々な想いの元に巡礼されております。最近では老若男女問わず外国の方も多く見受けられ、世界的に「お遍路」が静かなブームとなっているのでしょうか・・・。



さて、今年は4年に一度の閏年です。閏年はお遍路に少し変化が見られます。通常は1番札所から順番に時計回りに巡礼する「順打ち」が基本ですが、閏年だけは88番札所から反時計回りに巡礼する「逆打ち」をされる方が増加します。これは弘法大師が順打ちで四国を巡っていることから、「逆打ち」の方が弘法大師に出会いやすいということ、遍路道が「順打ち」を基本として設置されているため「逆打ち」で巡礼する方が難しいとされ、そのことから「逆打ち」の方が功德が大きいとされているからです。

ではなぜ閏年に「逆打ち」なのか?と疑問がわいてくるとは思いますが、これは天長元年(824年)伊予の国(愛媛県)に衛門三郎という庄屋がおりました。ある日、家に托鉢僧が訪れましたが、衛門三郎は竹箒で追い払ってしまいました。その翌日から衛門三郎の子供達に異変が起こり、8日間で8人全員の子供達が亡くなり衛門三郎は「あの時の托鉢僧は弘法大師であった」と気づき、許しを請うため巡礼している弘法大師の後を追いかけてお遍路を始めました。ところが20回巡っても弘法大師に会えず、21回目に「逆に回れば会えるのでは・・・」と考えお遍路を逆に巡る「逆打ち」を行い、弘法大師に会うことができたとされています。



この「逆打ち」を始めたのが閏年であったことから、一度八十八カ所を巡礼した人が閏年に「逆打ち」巡礼すると弘法大師に会えると、お遍路さんの間では言われ広まるとされています。

営業卸部門 本社 松嶋

異国情緒

6月末の3日間で、お客様とともに、取引先の中国工場に製品の検品に行きました。

お客様のご要望で検品の合間に、現地市内のお寺にお参りをしました。

異国のお寺ならではの、日本にはみられない風景を楽しみました。

営業卸部門 大阪営業所 横井



【編集後記】

この「なんしよん夏号」がお客様のお手元に届いている頃には梅雨も明けている事でしょう。弊社HPのメルマガに詳しく書かれていますが、庵治町の新しい観光名所「あじ亀王山公園」がオープンしました。そこで、私も雨の中6月某日行ってみました。「大雨による落石のため本日臨時休園」の立て看板(涙)。徒労に終わりました。梅雨が明けたらまた行きます。やはり庵治町は晴れが似合います。 営業卸部門 大阪営業所 甲佐

有限会社 庵治石彫工房

【本社】

〒761-0130

香川県高松市庵治町丸山63

TEL: 087-871-4607

FAX: 087-871-2933

E-mail: sekicho@lilac.ocn.ne.jp

HP: http://ajisekicho.com

【大阪営業所】

〒598-0001

大阪府泉佐野市上瓦屋661-1

リヒトビル502号

TEL: 072-469-1125

FAX: 072-462-3899

